

Quality & Colorful ページエコシリーズ

調色幅拡大しました。



神東塗料

特長

1. 低VOC・低臭
2. 豊富な色彩
3. 底艶を抑え、艶むらのない滑らかな仕上がり
4. 優れた塗装作業性
5. 抗菌仕様※

※ ページ70エコのみのオプション対応になります。

適用部位

コンクリート、モルタル、各種ボードの居室内壁面および天井面

用途

学校、病院、老健施設、飲食店、店舗、スーパー、事務所、公共施設のホールなどの居室

商品構成と塗装面積

商品名	規格	荷姿	色相
ページ70エコ	防火認定材料	20kg 4kg	白・淡彩色・中彩色・濃彩色
ページ50エコ	防火認定材料	20kg 4kg	白・淡彩色・中彩色・濃彩色

塗装仕様

① 標準仕様

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	改修……劣化塗膜をケレン工具で完全に除去し、ごみ、ほこり、チョーキング粉を除去する。 しみ等がある場合は中性洗剤等を用いて除去し、その後充分水拭きし、乾燥させる。 汚れのひどい場合は下塗りとしてシントーしみ止めシーラーエコを用いる。 新設……エフロ・レイタンス・汚れ等をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス等を用いて除去する。 素地が、pH10以下、ケット式デジタル水分計で5%以下であることを確認する。					
下 塗	ラテックスプライマー#1000エコ (水道水)	10~20	0.10~0.13	1	3時間以上	はけ ローラー
上 塗-1	ページエコシリーズ (水道水)	5~15	0.10~0.13	1	3時間以上	はけ ローラー
上 塗-2	ページエコシリーズ (水道水)	5~15	0.10~0.13	1	——	はけ ローラー

② ケイ酸カルシウム板等の吸い込みが多い場合

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	改修……劣化塗膜をケレン工具で完全に除去し、ごみ、ほこり、チョーキング粉を除去する。 しみ等がある場合は中性洗剤等を用いて除去し、その後充分水拭きし、乾燥させる。 汚れのひどい場合は下塗りとしてシントーしみ止めシーラーエコを用いる。 新設……エフロ・レイタンス・汚れ等をワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエス等を用いて除去する。 素地が、pH10以下、ケット式デジタル水分計で5%以下であることを確認する。					
下 塗	シントー水性Mシーラー	無希釈	0.08~0.15	1	3時間以上	はけ ローラー
上 塗-1	ページエコシリーズ (水道水)	5~15	0.10~0.13	1	3時間以上	はけ ローラー
上 塗-2	ページエコシリーズ (水道水)	5~15	0.10~0.13	1	——	はけ ローラー

低臭

	人の臭い評価			臭いセンサー値		
	直後	経時	刺激	500	1000	1500
ページエコシリーズ	○	◎	◎			
従来型EP	△	△	△			
他社品	△	△	△			



金属酸化物半導体表面でのガス吸着による熱伝導度変化および電気伝導度変化を白金線コイルの両端よりみた抵抗値変化として測定するガスセンサー

◎臭わない ○ほとんど臭わない △すこし臭う

抗菌効果

【一般エマルジョン塗料】



【ページ70エコ (抗菌)】



抗菌性試験

抗菌性試験 (JIS Z 2801フィルム密着法)

1) 試験菌

Escherichia coli IF03972 (大腸菌)
Staphylococcus aureus subsp. aureus IF012732 (黄色ブドウ球菌)

2) 測定結果

- ① 試験菌液の調整：NA培地で30℃、20時間培養を行った菌を、それぞれの菌数が10⁵~10⁶/mlとなるように希釈し試験菌液とした。
- ② 試験操作：試験片をシャーレに入れ、試験菌液0.4mlを接種し、ポリエチレン製のフィルムにより被覆して30℃、相対湿度95%の環境下で24時間放置した後、生菌数を測定した。

■ 施工上の注意事項

1. 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
3. 結露が予測される場合は塗装を避けてください。（特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください。）
4. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下（ケット科学研究所製CH-2）または5%以下（ケット科学研究所製Hi500シリーズ）で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
5. 著しい吸込み面に塗装の場合は、下塗りにシントー水性Mシーラーを塗装してください。また、旧塗膜が脆弱な場合にもシーラーが必要とする場合があります。予めご相談ください。
6. ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑性を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。
7. 被塗面は清浄な状態してから塗装してください。

■ 取扱いに関する注意

1. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
2. 塗料の取り扱い、屋外または換気の良い場所で行ってください。
3. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
4. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
5. さげ缶に小分けするときは、十分にき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使用してください。
6. 塗料開缶は原則として使用する直前に行ってください。
7. 開缶後や作業中断時など、塗料の入った容器には常にフタをするように心がけてください。
8. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを行ってください。
9. 使用した塗装器具は、直ちに水洗いしてください。
10. 下塗り塗料に「シントー水性Mシーラー」を使用した場合は、塗装器具、洗浄に用いた水との共有使用は避けてください。
11. 現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない風通しのよい場所で保管してください。
また、未開缶の塗料は出来るだけ直射日光を避け、屋内倉庫に貯蔵してください。

■ 塗装に関する注意事項

1. 水系塗料ですので、シンナー類の混合は絶対に避けてください。
2. 下地の形状、状態および温度、湿度、換気状況などにより、使用量増減、塗装間隔時間が変動することがあります。
3. 希釈上限を超えての希釈は避けてください。隠ぺい性低下など仕上がり性に不具合が生じる場合があります。
4. 常時ものが置かれる家具等（テーブル、椅子、ベンチ、棚、カウンターなど）には、色移り、粘着のおそれがあるため塗装をしないでください。
5. 濃彩色や原色に近い色は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など触れる可能性がある部位への塗装は避けてください。
6. 上塗りに黄、赤系など彩度の高い色を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、共色（淡彩）に調色した下塗りを塗装してください。
7. 被塗物の形状や、膜厚、塗回数、塗装方法、希釈率の違いにより特に補修塗装時には色や艶が異なって見えることがあります。
また塗継ぎ部分では仕上がり肌の違いにより艶むらが生じる場合があります。試し塗りの上、本塗装を実施してください。
- 8.
9. 被塗物の形状や、塗装条件（塗回数、塗り付け量、希釈率）、塗り継ぎ箇所などで、色相、艶感の仕上がり若干異なって見える場合があります。
事前に試し塗りをを行い確認してください。本施工を行う際には、面を区切って通しで塗装してください。
10. 補修塗りは、使用された塗料と同一ロットのものを、同一の塗装方法で実施してください。（使用する塗料の控えを必ず取っておいてください。）
11. 塗装方法により色が違って見える場合がありますので、ローラー塗は、できる限り入隅までローラーで塗装してください。
12. 塗装中または塗装終了後の乾燥中は、換気を十分に行ってください。

■ 緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布（ウエス）などで拭き取ってください。

■ 廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。
(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■ 保管

1. 塗料の保管は関連法規を遵守してください
2. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
3. 子供の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

本カタログの内容・仕様等について予告なしに変更することがあります。ご了承ください。



⇨ 詳細はこちら

神東塗料株式会社ホームページ
<https://www.shintopaint.co.jp/>